目標解答時間 15分

＿＿＿月＿＿＿日

内容理解（短文） Comprehension (Short passages)

次の(1)から(5)の文章を読んで、後の問いに対する答えとして最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

(1)

ビジネスのポジション(注1)は「役に立つ・役に立たない」と「意味がある・意味がない」の2つの軸(注2)で整理できます。

日本の多くの企業はいまだに前者の軸だけで商品開発をしていますが、それだと生き残れるのはトップの企業だけ。ゆえに、戦略(注3)としては、提供するモノやサービスにどれだけ意味をもたせられるかを考えるべきなのです。

その際、こういう社会を実現しようとしているという企業の姿勢が明確になっている必要があります。そこがはっきりしていれば、それに賛同する人たちは、消費者としてその企業を応援しようとするでしょう。

（プレジデントオンライン<https://president.jp/articles/-/43373> 2021年2月23日による）

（注1） ポジション：位置づけ
（注2） 軸：物事の中心となるもの。ここでは基準
（注3） 戦略：勝つための計画

1 その企業とあるが、どんな企業か。

1 人々のために役立つものを作り出している企業
2 意味のある商品やサービスを提供する企業
3 他の企業と比べて成功しているように見える企業
4 社会の声に耳を傾けて、その要求にこたえる企業

LIVEWORKSHEETS

(2)

以下は、植物とアリの関係について書かれた文章である。

アリを味方にしようと、さらに厚遇(注1)でアリを迎え入れる植物もある。
驚くことに、アリを懐柔(注2)するために食べ物だけでなく、アリの家族が住む住居まで提供するのだ。
「アリ植物」と呼ばれるこれらの植物は、枝の中に空間を作り、その中にアリを住まわせる。もちろん、食事も豪勢(注3)である。それらの植物は、蜜などの糖分ばかりか、たんぱく質や脂質などすべての栄養素をアリに与えている。そのため、アリは、この植物の上だけで過ごすことができる。そして、その代わりにアリたちは、木の葉を食べようとする毛虫などの昆虫から、植物を守っているのである。

(稲垣栄洋『たたかう植物 ――仁義なき生存戦略』筑摩書房による)

(注1) 厚遇：歓迎し、丁寧に扱うこと
(注2) 懐柔する：上手く扱って自分の思い通りに動かす
(注3) 豪勢な：非常にぜいたくで豪華な様子

1 本文中のアリについて正しいものはどれか。

1 糖分以外の栄養を「アリ植物」から得ている。
2 毛虫に襲われることがある。
3 植物の上でしか生きられない。
4 「アリ植物」の枝の中に住んでいる。

LIVEWORKSHEETS

(3)

あなたは好きなことを思いっきりやっているだろうか。

どちらかというと、好きなことは我慢してやらず、嫌いなことを無理してやる。そんな生き方になっている人のほうが、むしろ多いのではないだろうか。

だが、好き嫌いの感情をいつも抑えていれば、ストレスは溜まるし、人生はつまらなくてやりきれないものになっていくに違いない。

好き嫌いの感情を抑えて理性(注)で行動をコントロールするのは、けっして立派なことではない。幸せな人生をおくるには、私たちは好き嫌いの感情にもう少し素直になってもいいのである。

(桜井章一『感情を整える』PHP研究所による)

(注) 理性：人として物事のいい、悪いを判断する心の働き

1 筆者の考えに合うのはどれか。

1 どんなときでも、好き嫌いの感情に従うべきだ。
2 好き嫌いの感情を抑えないことで自然と人生は楽しくなってくる。
3 自分の行動をコントロールできない人は立派だとは言えない。
4 好き嫌いの感情を抑えることが常に正しいわけではない。

(4)

最近のビデオゲーム、特にRPG(注1)は、映像や物語の質が高くプレイヤー(注2)に感動を与えたり、新しいものの見方を教えてくれたりすることもある。まるで自分で登場人物を動かすことができる映画のようだ。絵画や文芸、そして映画を芸術と呼ぶのならば、ゲームを芸術と呼んでもかまわないのではあるまいかという声すらある。しかし、一方で、ゲームは結局のところは子どものおもちゃにすぎないという意見も根強い。この議論に答えを出すためには、まずは芸術とは何かということから見直す必要があるだろう。

(注1) RPG：ロールプレイングゲーム。自分が登場人物となり、目的に向かって物語を進めるゲーム
(注2) プレイヤー：ゲームをする人

1 この議論とはどんな議論か。

1 ゲームの芸術性をどう高めるかという議論
2 ゲームは芸術のひとつなのかという議論
3 ゲームで芸術を教えられるのかという議論
4 何をもって芸術として認めるのかという議論

LIVEWORKSHEETS

(5)

以下は、携帯電話の会社から来たメールである。

From：xxxx@xxxx.co.jp

To：yyyy@yyyy.co.jp

件名：お客様への大切なお知らせ

ご利用者様

弊社の携帯電話（080-XXXX-XXXX）をご利用いただきありがとうございます。
10月分（9月20日～10月19日）のご利用料金をご指定のクレジットカード会社よりご請求させていただきます。詳しくは、「お客様ポータルサイト」の「請求料金」をご確認ください。
契約プランについては、同サイト内「契約内容の確認」のページよりご確認いただけます。
また、今月よりお得なプラン「話し放題ダブル」をお選びいただけるようになりました。
全国の店頭にてプランの変更を承っております。プランの内容については
https://www.xxx.jp/hanashihodai-double/をご覧ください。

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝
【お問い合わせ先】
AAテレコムサポートセンター
TEL: 012-432-3153
(日本時間 9:00～19:00 年中無休)
＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

1 このお知らせからわかることは何か。

1 利用料金が請求されること
2 10月分の請求料金
3 契約内容が変更されること
4 新しいプランの内容

LIVEWORKSHEETS